

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3270101391		
法人名	有) メディックス古沢		
事業所名	グループホーム野の花		
所在地	松江市大庭町1311-1 (電話) 0852-20-2822		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	松江市白潟本町 43番地		
訪問調査日	平成21年2月4日	評価確定日	平成21年3月2日

【情報提供票より】(20年12月31日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月30日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤15人, 非常勤0人, 常勤換算12.9人	

## (2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺造り		
	2階建ての	1・2階部分	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	4万~4.5万円	その他の経費(月額)	20,368円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(20万円) 無	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	540円	昼食	540円
	夕食	540円	おやつ	円
	または1日当たり 1,620円			

## (4) 利用者の概要(12月31日現在)

利用者人数	16名	男性	4名	女性	12名	
要介護1	8名	要介護2	1名			
要介護3	4名	要介護4	3名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	84歳	最低	77歳	最高	96歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	後藤クリニック・細田クリニック・古沢整形外科医院・大町歯科医院・特別養護老人ホーム「長命園」
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

節分には豆まき、海苔巻き作り、5月にはお茶会、そば打ち、7月には近隣の方も招待してそうめん流しをする等、利用者が季節の変化を楽しめるよう月々の行事を大切にしている。自己決定の支援の一つとして「好きなインスタントラーメンを食べる日」というユニークな取り組みもあり利用者に喜ばれている。他事業所との交換研修には「行事のことを学ぶ」「防災について学ぶ」など各自課題を持って臨みサービスの向上に活かしている。開設3年を経て職員のチームワークもよく、職員全員で話し合いながら利用者の自由な生活を支えている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	家族の意見を運営に反映させるために家族アンケートを実施したり、他事業所と職員の交換研修を行うなど、積極的に課題に取り組み改善している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員が評価の意義を良く理解し、2~3ヶ月かけて評価を行った。課題について改善計画シートを作成し全員で共有しながら改善に取り組んでいる。外部評価結果は運営推進会議で報告されている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	「行事報告」「研修の取り組み」「家族会について」など話し合い出席者と意見交換をしている。所轄の交番や近くのコンビニエンスストアの社長など、より幅広い地域の人に参加してもらい、アドバイスをいただきサービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「声ノート」を作成し、本人や家族から聞いたことを担当者だけでなく全職員で共有しあっている。面会の少ない方や遠方の方には電話で話を聞いて対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	ホームだよりの地域版を回覧したり、幼稚園児との交流、地域やホーム行事を通しての交流など地域との連携に努めている。事業所内に地域交流室を設け、自治会や小集会、大正琴など趣味の集まりに利用して頂いている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設3年目に見直しを行い、地域密着型としての理念をつくりあげている。現在、新理念を盛り込んだパンフレットを印刷中である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をケアプランに活かし実践に努めている。月に一回のユニット会議で自己評価をし理念に沿ったケアができたか確認し合っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所にも高齢の方がおり散歩時に花を頂いたり挨拶を交わしたり、近くの園児と交流などしている。事業所には地域交流室を設け、地域の自治会や小集会、趣味の集まり等にも利用して頂いている。	○	引き続き地域の一員として交流をすすめて頂きたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で2～3ヶ月かけて評価を行った。職員は評価の意義を良く理解し、課題を共有しながら改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	所轄の交番やコンビニエンスストアからの出席もあり幅広い情報を得ている。外部評価、行事報告、家族へのアンケート作成や困難事例の対応なども議題に入れ、良いアドバイスを頂いている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	困ったことや分からないことを相談してアドバイスが頂ける良い関係が築けている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月便りを発行し、生活の様子や行事を写真と共にお知らせし、担当者の直筆で利用者の暮らしぶりや健康状態を報告している。金銭管理は面会時に印鑑を頂いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「声ノート」を作り面会時の家族の話などを書きとめ職員全員で思いや情報を共有している。昨年の課題に基づき家族アンケートを実施した。	○	努力されているので今後も意見の引き出しの工夫を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	早めに担当者を決め引継ぎ期間を2週間取っている。新人職員は3ヶ月間は担当を持たないで利用者に関わり、馴染みの関係を築いてから担当になっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修に参加し、全職員で内容を共有している。講師を招いての研修や資格取得の研修の機会もある。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>「七色の会」を発足し交流を深めている。他の事業所との交流の一環として毎月2名ずつ交換研修を実施している。</p>		
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には必ず訪問し、本人、家族と面談し、本人自身から気持ちをしっかり聞くようにしている。見学に来て頂いて本人が納得してから入居して頂いている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>行事や昔の習慣、この地方の行事に合わせた料理や献立など習ったり、菜園の手入れを教えて頂いている。利用者から職員が励ましていただく場面もある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からの情報や本人の訴えを「声ノート」に記録し、情報を共有し思いや意向に添うよう検討支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常のケアの中で本人や家族の思いや意向を聞いている。各ユニット会議で職員全員で話し合って作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の状況、本人・家族の希望、担当職員の意見などを取り入れ、全職員で話し合いながら毎月見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所内に家族が泊れる場所がある。急な外出、通院は家族が困難の場合は対応している。医療連携体制加算をとり健康面での支援がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による受診や往診が行われている。複数の協力医療機関とも良い関係が出来ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に「重度化した場合の対応について」の同意書を作成し、事業所で出来る最大限のケアについての説明を行っている。まだ看取りの事例はない。	○	さらに職員で検討を重ね方針を共有して頂きたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員は一人ひとりのプライバシーの保護に努めており、話しかける時も傍によって耳元でソフトな声で話しかけるなど尊敬の気持ちを持って接している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の本人の気持ちを大切にその人らしく暮らせるよう支援している。買い物や散歩等もできるだけ希望に沿えるよう対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の好みを取り入れ、皮むきなどの下準備、調理、盛り付け、片付けなどを一緒にやっている。菜園で採れた物を利用したり、おやつも手作りを楽しむようしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	全介助の方には気持ちを聞いて納得してもらってから、日中に入浴して頂いているが、毎日でも夜間でも利用者の希望に沿った支援ができる体制が作られている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	干し柿や干し大根作り、掃除や菜園の手入れ、合唱のリーダー、紙箱折など利用者の力を発揮できる場面を見つけ支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に応じて散歩や買い物、ドライブに出かけている。近くのコンビニへも同行し買物を楽しんで頂いている。車椅子の方にも屋外に出る機会を作っている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。家族も好きな時間に訪問されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の医療福祉等サービス提供事業所で作る連絡協議会に加入していて、災害時にはお互いに協力できる体制を整えている。備蓄についても話が出ている。	○	事業所としての備蓄も考えて頂きたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事や水分摂取量を記録し、情報を共有している。利用者の好みや食べる量を把握し一人ひとりに合った対応がされている。栄養士の指導も受けている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るい居間からは厨房の様子が良く見え、野菜を刻む音やいい匂いがしてくる。テーブルには季節の花や鉢花が飾られ、畳スペースにはこたつが置かれ居心地のいい空間作りをしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや箆笥などは馴染みの物や好みの物が持ち込まれている。家族の写真や、孫からの絵手紙、手作りの装飾品などが飾られている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。